

》商工会議所活用レシピ

手厚いサポートで省エネ機器を導入
環境に優しい経営を維持し続けます



トントン申揚割烹
代表
森光 真史 さん

オープン以来、「申揚げ」を看板メニューに掲げて経営を続けてきた当店は、地元の皆さまに支えられ、来年で25周年を迎えます。

こうした中、一番の課題となっていたのが、設備の老朽化でした。リース物品の返却期限も迫っていたため、昨春秋ごろから何点か新しい機器の購入を検討していた

のですが、どうせならコストカットやCO₂削減につながるものにしたと考えていました。そんなときに、立川商工会議所の山本さんから紹介してもらったのが、省エネやCO₂削減の取り組みに對するさまざまな支援事業です。

このうち、当店が最初に利用したのが「エネルギー消費量の見える化プロジェクト」でした。これは、小型電流センサーを分電盤に取り付け、機器や時間ごと

の電力使用量を確認できるようにするもの。設備更新に当たって、どの機器がどの程度の電力を使っているのかを知りたかったのだ、これは大変役立ちました。その後、専門家に店まで来てもらい、電気・ガスの使用状況や設備の状態などをチェックしてもらった。「省エネ診断」も受けました。

これらの結果から、店内で一番電力を消費しているのが冷凍・冷蔵庫だということが判明。2番目が照明、3番目が食器洗浄機だということも分かり、一刻も早く、これらを買って替えて店の環境を改善したい、との思いが強まりました。

購入資金の面では、商工会議所の推薦で無担保・無保証人・低金利で融資を受けられる「マル経融資」を紹介してもらいました。

た。提出書類の書き方などもアドバイスしてもらったおかげで、スムーズに融資を受けることができました。さらに市の助成金情報も教えてもらい、早速申請したのです。

最終的には、冷凍・冷蔵庫と食器洗浄機、さらには2台のエアコンを、電力効率が高いものへと買い替えることに成功。また、省エネ診断の際に正しい省エネのコツを知ったことで、従業員も今以上に節電を心掛けるようになり、機器導入後の電気料金は、昨年比で25%も少なくなりました。

今後は、LED照明を導入するなどして、照明の電力消費量も減らしていきたいと思っています。そして、環境に優しい経営を続けていきたいです。

ご相談は最寄りの商工会議所までお気軽にどうぞ

担当者からひと言



立川商工会議所
(東京都)
事業課長
山本 正雄

当所では、平成21年度から地球温暖化対策事業に着手し、協議会を立ち上げて会員事業所を対象にさまざまな視点から支援事業を展開しています。具体的には、実際の消費電力をグラフで確認できる見える化プロジェクトや、無料省エネ診断、ウェブサイトでの情報発信などのメニューを用意。また、行政と連携し資金面のサポートも行っていきます。

森光さんは、これらのメニューを活用した第一号の事業者です。地域に根付くお店の頑張りは、当所にとっても励みになっています。これからも森光さんの環境に配慮した取り組みを応援しつつ、もっと多くの事業所に活用してもらえよう、広くPRしていきます。